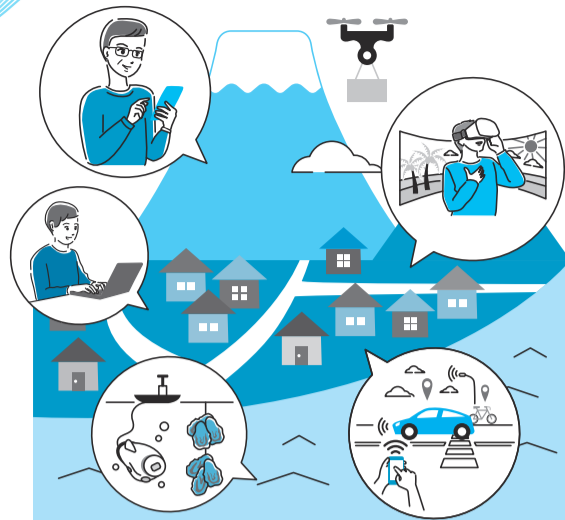




デジタル技術が暮らしを支える 誰にも優しい デジタル社会の実現へ

今、社会のデジタル化が急速に進んでいます。デジタル技術を積極的に取り入れ、身近な暮らしに役立てられるよう、県は「**ふじのくにDX※推進計画**」をスタートします。

※DX:デジタルトランスフォーメーション…情報通信技術の浸透が、人々の生活をあらゆる面でよりよい方向に変化させること。



◆なぜ今、デジタル化?

これが2040年問題!

生産年齢(15~64歳)の人口

2015年 7629万人



2割以上
減少!



2040年 5978万人

誰にも優しく、誰もが便利に、安全・安心、そして豊かに

2040年までに深刻化するといわれる労働力不足に備え、デジタル技術を活用した効率化が求められています。新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い非対面・非接触などの新しい生活様式が推奨されたことで、デジタル化が一層加速しています。

「ふじのくにDX推進計画」の基本理念は「誰にも優しく、誰もが便利に、安全・安心、そして豊かに」。いつでも、どこにいても必要なものやサービスが受けられる持続可能な社会を目指しています。

◆地域社会のDXの推進に向けた取り組み

県は「10年後の目指す姿」に向け、段階的に計画を進めていきます。

10年後に向け、例えばこんなことに取り組みます!

デジタルデバイド (情報格差)対策



今後、暮らしの中にデジタル技術の活用が広がっていく中で、デジタル機器に不慣れな方が取り残される恐れがあります。地域での支援を充実させるため、スマートフォンの基本的な使い方などを教えられる「デジタルサポーター」を育成します。

行政手続きの オンライン化の推進



住民に身近な行政サービスの窓口である市町の情報システムの標準化などを支援し、行政手続きのオンライン化を進めます。マイナンバーカードを利用して、窓口に行かなくても必要な行政サービスが受けられる体制を整えます。

データの分析・利活用の推進



オープンデータ(※)などの取り組みを通じ、旅行者への効果的な情報発信による観光誘客、デジタル技術を活用した農作業の効率化や農作物の高品質化など、さまざまな分野でデータの活用を進めます。

※オープンデータ…データの利活用を促進するため、容易に編集、加工、再配布などができる形で提供するデータ

知っていますか? 身近なデジタル化

◆県立中央図書館「電子図書館」

「図書館DX実証実験」として、各種サービスの拡充に取り組んでいます。「電子図書館」は、広い県域をカバーできる遠隔地サービスとして好評です。



▲電子図書館の説明はこちら

◆3次元点群データ

県は、県内のほぼ全域の道路や地形などをデジタルデータで取得し、再現する取り組みを行っています。このデータは、オープンデータとして公開しており、自動運転、観光、学術研究などさまざまな分野で活用されています。昨年7月に熱海市で発生した土石流災害では、2次災害の危険性の速やかな把握や対応策の検討に活用されました。

動画で解説



▲3次元点群データにより再現した橋

詳細はこちら

「ふじのくにDX推進計画」の
目指す姿・政策を動画で紹介



10年後

誰もがデジタル化の恩恵を受けられる、豊かな社会

[問い合わせ] 県デジタル戦略課 ☎054(221)3679 FAX 054(251)4091

リニア中央新幹線静岡工区

県民の皆さんからの疑問にお答えします

質問

リニア中央新幹線静岡工区の工事により、南アルプスの動植物にどのような影響が心配されるのでしょうか?

回答

国の有識者会議が昨年12月に取りまとめた中間報告は、トンネル湧水を全量大井川へ戻せば、不確実性はあるものの大井川の中下流域の水資源には大きな影響はないと結論づけました。一方で、トンネル湧水が戻らない上流域では、300m以上の地下水位の低下と河川流量の減少は避けられないとも言っています。その結果、沢に生息する希少な魚類や両生類、水生昆虫などがすみかを奪われたり、高山帯のお花畑に影響を及ぼしたりすることが心配されます。

氷河期から残っている貴重な生態系は、一度破壊すると二度と復元できません。JR東海は、影響が出た場合、沢の生物に影響が出ない沢へ移植すると提案していますが、県の生物多様性専門部会の委員からはその実効性を疑問視する意見が出ています。(※右記参照)

南アルプスの豊かな自然環境を守るために、県はJR東海との対話を進めています。



▲南アルプスの稜線のお花畑

県の生物多様性専門部会委員の主な意見

- ・影響が出てからの代償措置ではなく、まず影響が出ないように影響の回避・低減をお願いする。
- ・稜線のお花畑と地下水位低下の影響との関係性について心配している。
- ・南アルプスユネスコエコパークの保全、利活用に係る取り組みについてJR東海の積極的、主体的な参画を望む。

令和4年3月22日現在の情報です。

県民だよりでは、リニア中央新幹線整備に関する県の対応などを連載でお伝えします。

詳細はこちら▶

静岡県 リニア 環境への影響

検索

[問い合わせ] 県環境局 ☎054(221)2421 FAX 054(221)2940